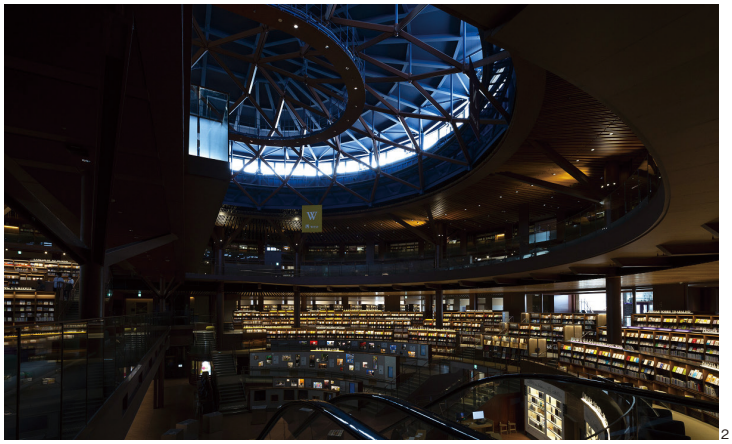
仙田MAN展
ことばで紡ぐ建築

環境建築家･仙田満は、60余年に渡り、多くの遊具、広場、公園、町づくり、展示、建築などのデザインに挑戦してきました。1982年頃には「遊環構造」という独自の設計手法を生み出し、その理論をはじめとした仙田氏の思考は、今も著書、作品、研究、教育など、多岐にわたる活動を通して発展を続けています。本展は、仙田氏がこれまで紡いできた「ことばと作品」を総覧できる形で構成しました。仙田氏が歩んできた環境建築家としての道が、次の世代へと続いていくことを願って、開催いたします。



1


2


3


4


5

1.「長崎スタジアムシティ」提供:長崎スタジアムシティ　2.「石川県立図書館」撮影:FUJITSUKA Mitsumasa
3.「エディオンピースウイング広島(広島サッカースタジアム)」©大成JV　4.「軽井沢風越学園」
5.「小田原市民ホール(小田原三の丸ホール)」

トークセッション

仙田満×坂　茂──11月28日(土) 18:00~19:30

仙田満×飯田善彦──12月4日(金) 18:00~19:30

入場無料　建築家クラブ(東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館 1階) 終了後、懇親会あり

事前申込不要、先着順、定員制

仙田 満

1941年横浜生まれ。1968年環境デザイン研究所を設立。東京工業大学教授、日本建築学会会長、日本建築家協会会長を歴任。代表作品はMAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島、石川県立図書館、エディオンピースウイング広島、長崎スタジアムシティ等。著書は『こどもを育む環境蝕む環境』(朝日選書)、『人が集まる建築』(講談社)、『遊環構造デザイン』(左右社)等。受賞歴 日本建築学会作品賞、日本建築学会大賞、村野藤吾賞、BCS賞、IAKS Award金賞など。

坂　茂

1957年東京都生まれ。1978~80年南カリフォルニア建築大学(SCI-Arc)。1984年クーパー･ユニオン建築学部(NY)卒業。1982~83年磯崎新アトリエ。1985年坂茂建築設計設立。1995~99年国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)コンサルタント。1995年NPO法人ボランタリー･アーキテクツ･ネットワーク(VAN)設立。2001~08年、15~23年慶應義塾大学環境情報学部教授。現在、芝浦工業大学特別招聘教授。2014年プリツカー建築賞受賞。2025年、日本芸術院会員、文化功労者に選出。2026年AIAアメリカ建築家協会ゴールドメダル受賞。

飯田善彦

1950年埼玉県生まれ。1973年横浜国立大学工学部建築学科卒業。計画･設計工房(谷口吉生･高宮眞介)、建築計画(元倉真琴氏と共同設立)を経て、1986年に飯田善彦建築工房を設立(2022年にアーキシップスタジオへ改称)。日本建築学会賞作品賞、第35回村野藤吾賞など受賞多数。2012年からは、まちに開かれた建築専門ライブラリー&カフェ「Archiship Library & Café」を運営。

建築家会館 1階 大ホール

東京都渋谷区神宮前2丁目3-16

東京メトロ銀座線 外苑前駅より徒歩10分･JR千駄ヶ谷駅より徒歩15分



主催=特定非営利活動法人 建築文化継承機構(JIA-KIT建築アーカイヴス)
共催=仙田満展実行委員会／金沢工業大学
後援=株式会社 環境デザイン研究所／公益社団法人 日本建築家協会
問合せ先=特定非営利活動法人 建築文化継承機構 事務局
TEL: 03-3356-2575(建築画報社:櫻井ちるど)
メールアドレス: npokbkk@gmail.com

JIA　K.I.T. 金沢工業大学